

《市民等意識調査結果（ダイジェスト版）》

1. はじめに

（１）調査の目的

この調査は、第２次南房総市総合計画後期基本計画の策定にあたり、その基礎資料とするために作成したものです。市の取組みに対する市民等意識をはじめ、今後のまちづくりのあり方などについて、把握し、計画策定の参考資料とすることを目的として実施しました。

（２）構成

この調査は、「①市民アンケート」「②中学生アンケート」「③職員アンケート」から構成しています。各調査の調査設計は下記の通りです。

①市民アンケート

無作為抽出による市民 1,500 人に対して、郵送により調査票を配布しました。なお、回答方法は、郵送による調査票の返送またはウェブアンケートへの記入の選択制としました。

調査対象	南房総市在住の満 15 歳以上の 1,500 人 (令和 3 年 10 月 1 日時点・住民基本台帳より無作為抽出)
調査方法	郵送による調査票の配布、本人記入形式、郵送またはウェブ上での回収※調査票は無記名で回答
調査期間	令和 3 年 11 月 5 日～令和 3 年 11 月 22 日

②中学生アンケート

南房総市立の中学校に在籍する 2 年生を対象に、学校のタブレット端末で回答可能なウェブ調査を実施しました。

調査対象	南房総市立の中学校に在籍する 2 年生 260 人
調査方法	タブレット端末での調査票の配布・回収 ※調査票は無記名で回答
調査期間	令和 3 年 11 月 15 日～令和 3 年 11 月 29 日

③職員アンケート

南房総市役所の職員を対象に、南房総市庁内 L A N システムを利用した電子アンケート調査を実施しました。

調査対象	南房総市役所職員 509 人
調査方法	公開羅針盤（庁内 L A N システム）のアンケート機能を利用した電子調査票及び紙調査票の配布・回収
調査期間	令和 3 年 11 月 17 日～令和 3 年 11 月 30 日

（３）有効回答数

本調査に対する有効回答数は次の通りです。

	①市民アンケート	②中学生アンケート	③職員アンケート
有効回答数	730 票/1,500 票	260 票	431 票
回収率	回収率 48.6%	100%	84.7%

（４）報告書をご覧ください際の注意事項

- ・ 図中の「n」（＝number）は、設問に対する回答者数を示しています。
- ・ 構成比（％）は、設問に対する回答者数を母数として、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出し、小数点以下第 1 位までを表示しています。このため、合計が必ずしも 100％にならない場合があります。
- ・ 複数回答形式の設問については、設問に対する回答者数を母数として構成比（％）を算出しています。このため、合計が 100％を超えることがあります。
- ・ 選択肢の文字数が多いものは、本文やグラフ・表中で省略した表現を用いています。
- ・ 本書は市民等意識調査等のダイジェスト版として、調査結果の一部を抜粋して掲載しております。クロス集計及び自由意見等については、市民等意識調査報告書をご覧ください。

（５）標本誤差

本調査は、調査対象となる母集団から標本を抽出し、母集団の比率を推測する標本調査になります。市民アンケートについて、統計学上の標本誤差は、本市の令和 3 年 10 月 1 日現在の人口をもとに算出すると、回答の比率により差がありますが、n＝730 のときは、標本誤差は±2.15％から±3.59％の範囲に収まることになります。これは例えば、愛着に関する設問への回答においては、愛着をもっていると回答した人の割合が 49.7％であったので標本誤差としての最大幅が±3.59％であることから、最大値として 53.29％の方が愛着をもっていると回答していることという状況を意味しています。

回答比率 (%) 回答数 (人)	10 (または 90)	20 (または 80)	30 (または 70)	40 (または 60)	50
2,000	±1.28%	±1.70%	±1.95%	±2.09%	±2.13%
1,000	±1.83%	±2.44%	±2.80%	±2.99%	±3.06%
800	±2.06%	±2.74%	±3.14%	±3.36%	±3.43%
730	±2.15%	±2.87%	±3.29%	±3.52%	±3.59%
600	±2.38%	±3.17%	±3.64%	±3.89%	±3.97%
400	±2.92%	±3.90%	±4.47%	±4.77%	±4.87%

（標本誤差算出式）

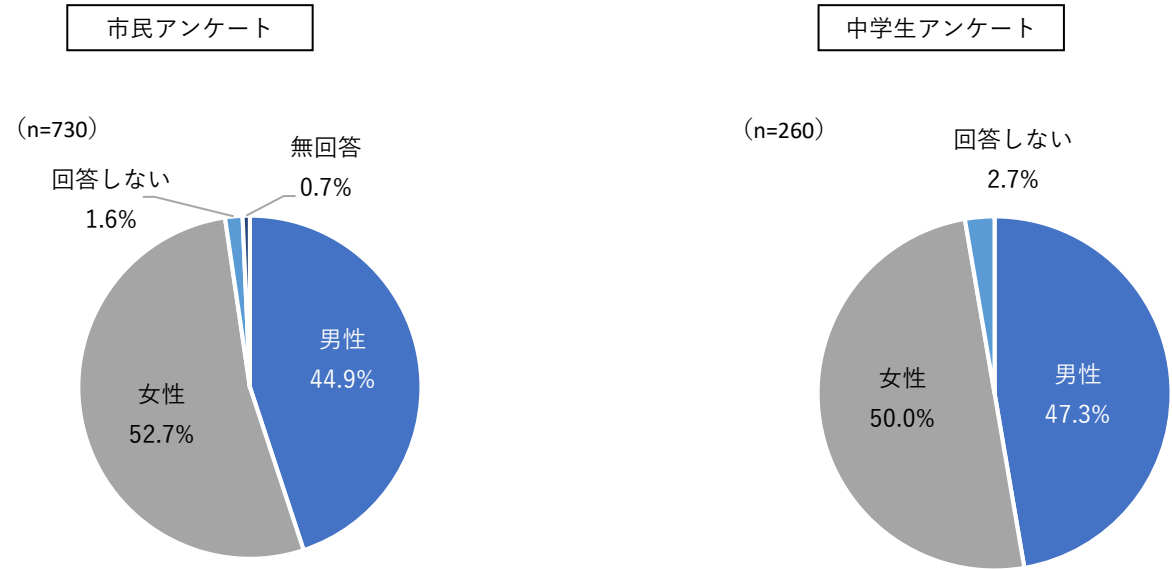
$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N＝母集団数
n＝比率算出の基数（回答サンプル数）
p＝回答の比率（0 ≦ p ≦ 1）

2. アンケート結果（各調査ごとの比較）

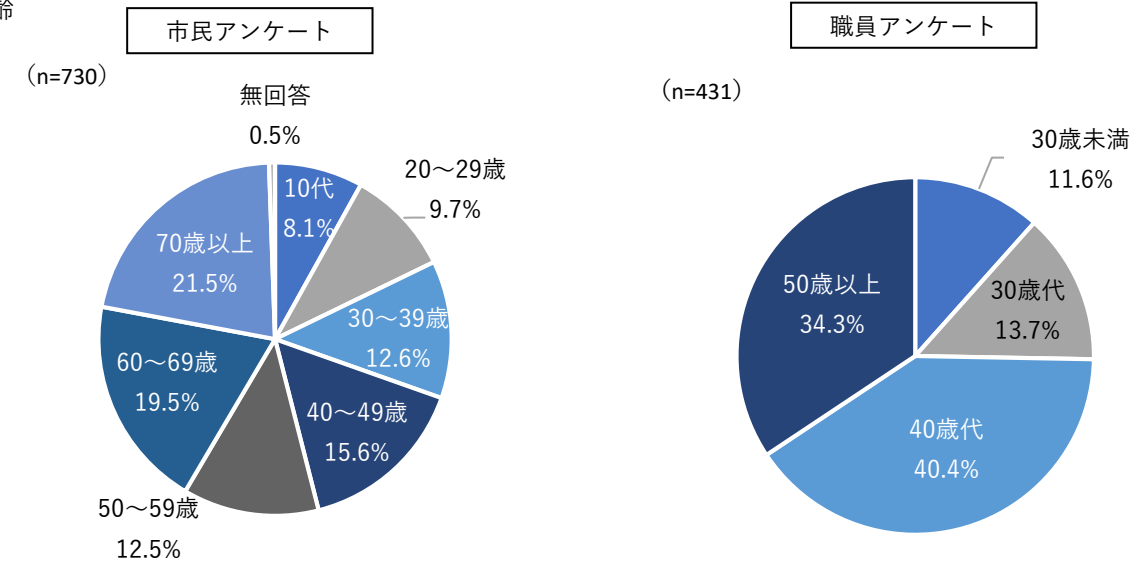
（1）回答者属性

①性別



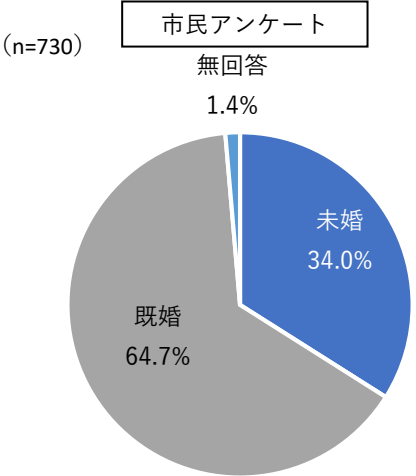
✓ 市民アンケート、中学生アンケートともに女性が多くなっています。

②年齢



✓ 市民アンケートでは、70歳以上が21.5%と最も多く、次いで「60～69歳」「40～49歳」の順となっています。職員アンケートでは、40歳代が40.4%と最も多く、次いで「50歳以上」「30歳以上」の順となっています。

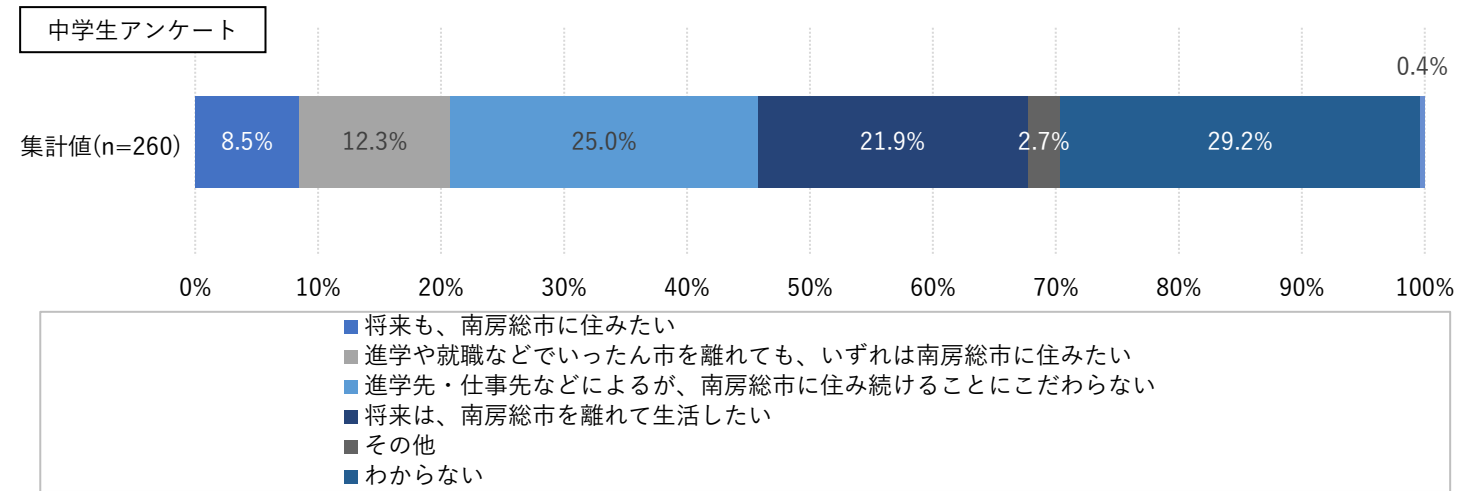
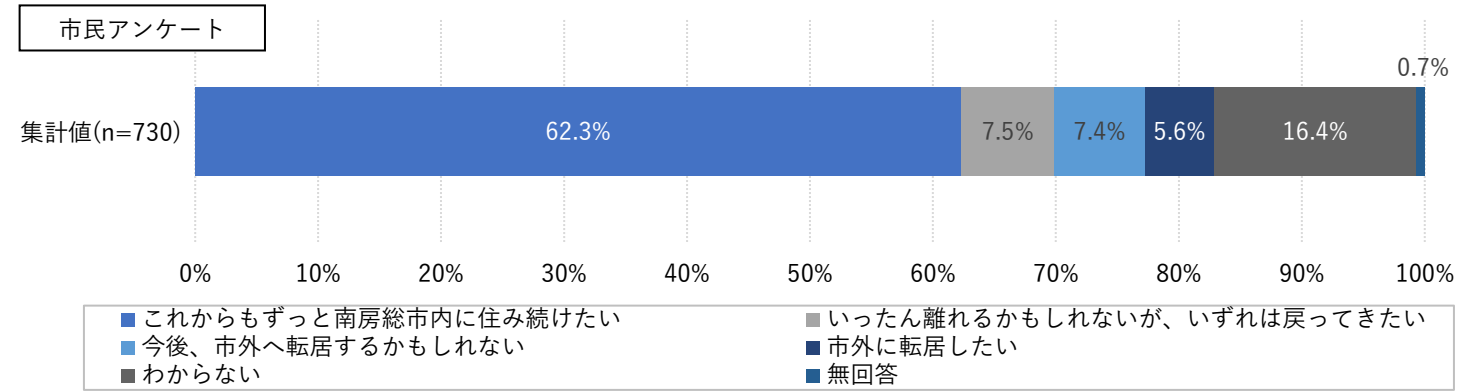
③婚姻状況



（2）定住意向

①南房総市への定住意向 ※（ ）は中学生の設問

問：あなたは今後も南房総市に住み続けようと思いますか（将来も、南房総市に住みたいと思いますか）

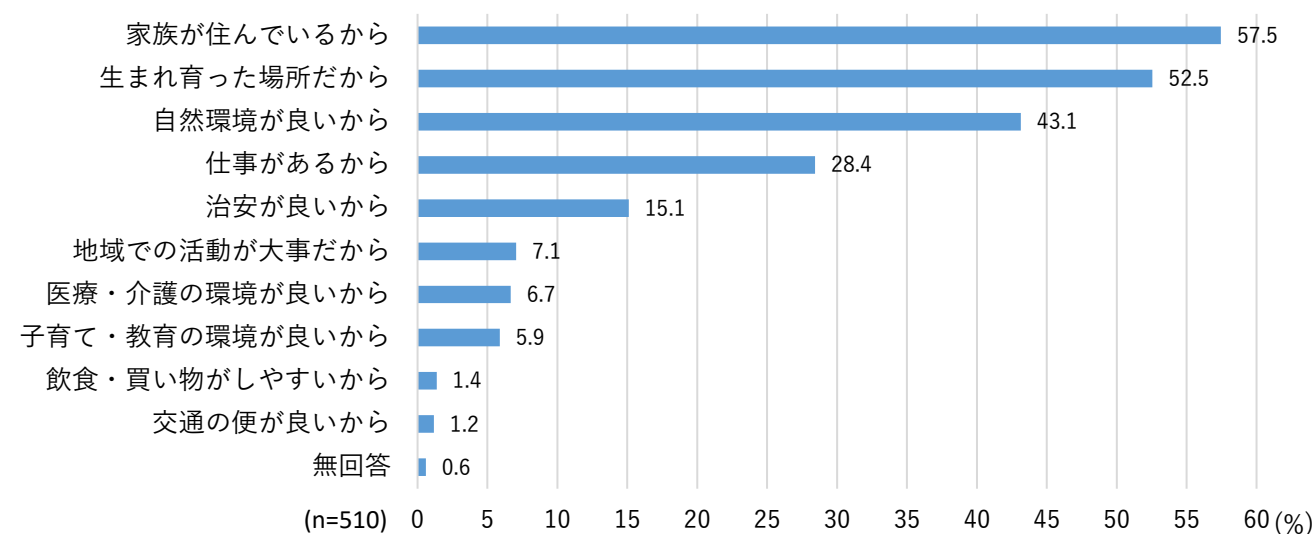


✓ 市民アンケートでは、「住み続けたい」「いったん市を離れても戻ってきたい」が約7割となっています。一方、中学生アンケートでは、約2割に留まっています。
✓ 中学生アンケートでは、半数以上が「住み続けることにこだわらない」「わからない」となっています。

②住み続けたい理由

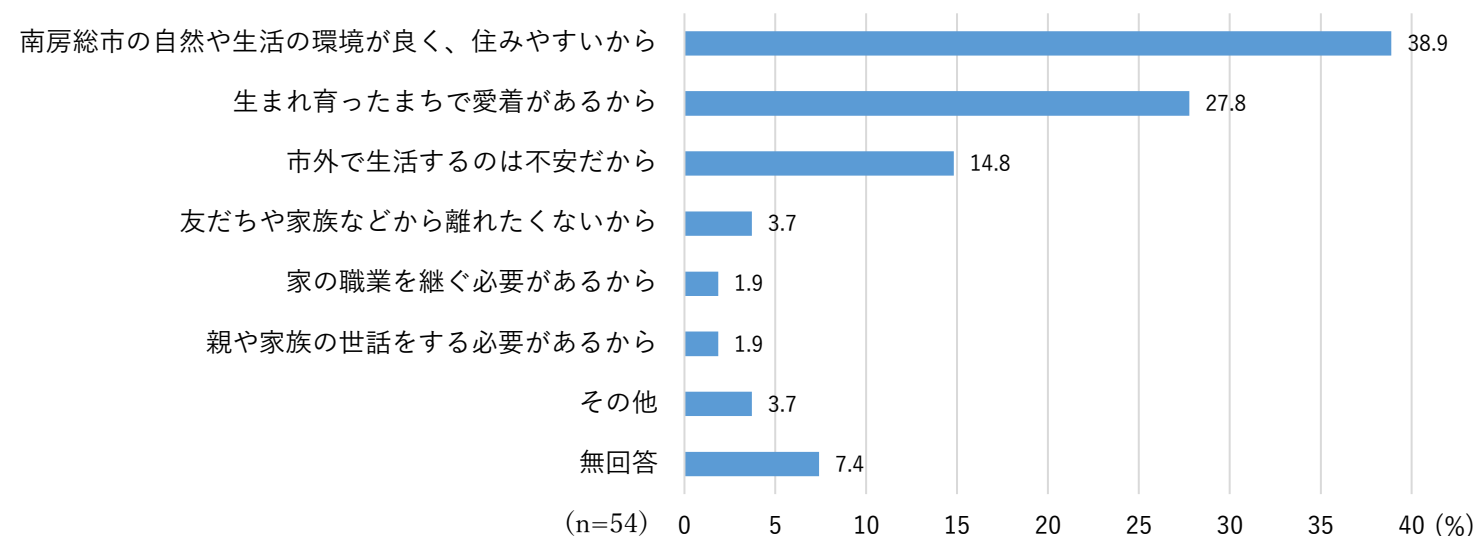
市民アンケート

※①南房総市への定住意向で「これからもずっと南房総市内に住み続けたい」「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」を選択した方のみ回答。



中学生アンケート

※①南房総市への定住意向で「将来も、南房総市に住みたい」「進学や就職などでいったん市を離れても、いずれは南房総市に住みたい」を選択した方のみ回答。

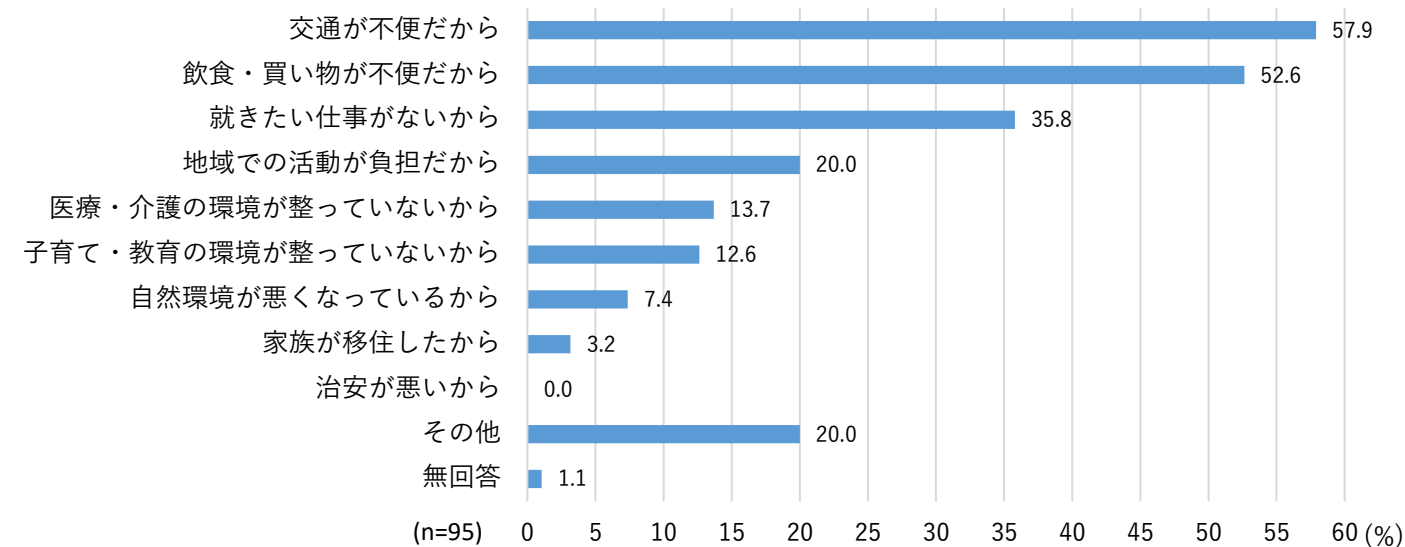


- ✓ 市民アンケートでは、「家族が住んでいるから」が 57.5%と最も多く、次いで「生まれ育った場所だから」「自然環境が良いから」の順となっています。
- ✓ 中学生アンケートでは、「南房総市の自然や生活の環境が良く、住みやすいから」が 38.9%と最も多く、次いで「生まれ育ったまちで愛着があるから」「市外で生活するのは不安だから」の順となっています。

③転居したい理由

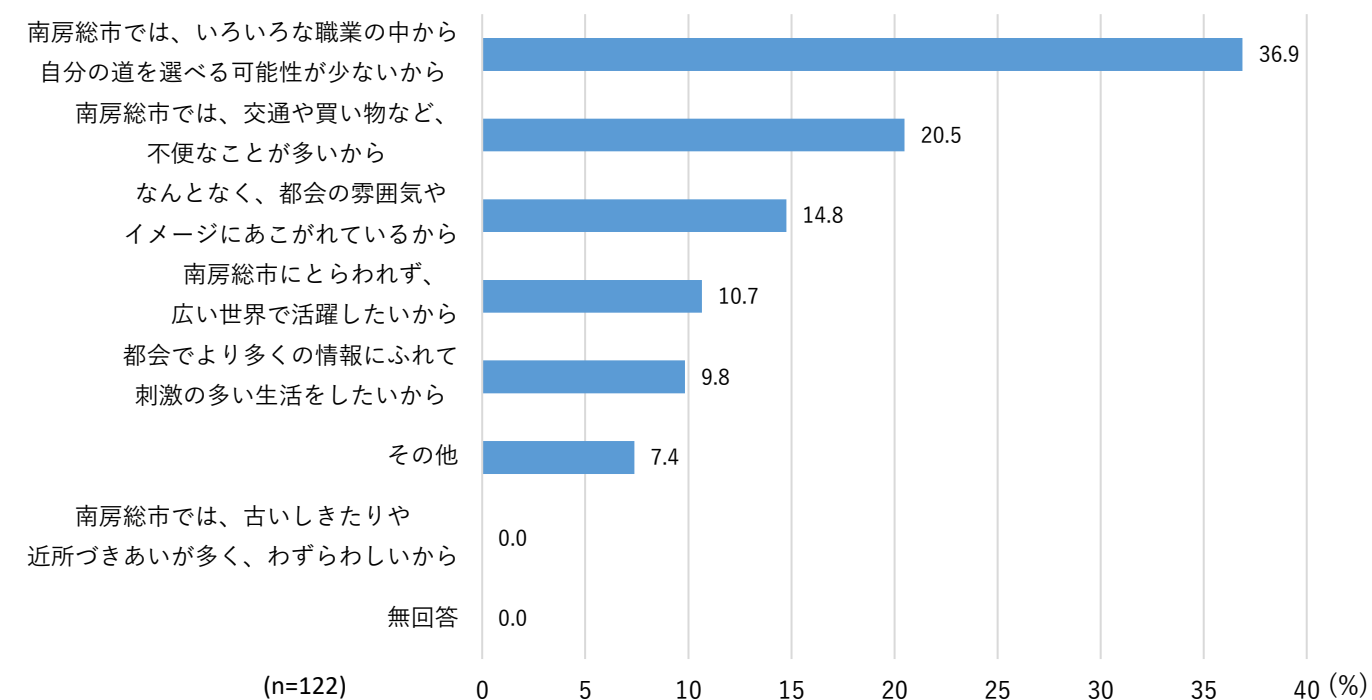
市民アンケート

※①南房総市への定住意向で「今後、市外へ転居するかもしれない」「市外に転居したい」を選択した方のみ回答。



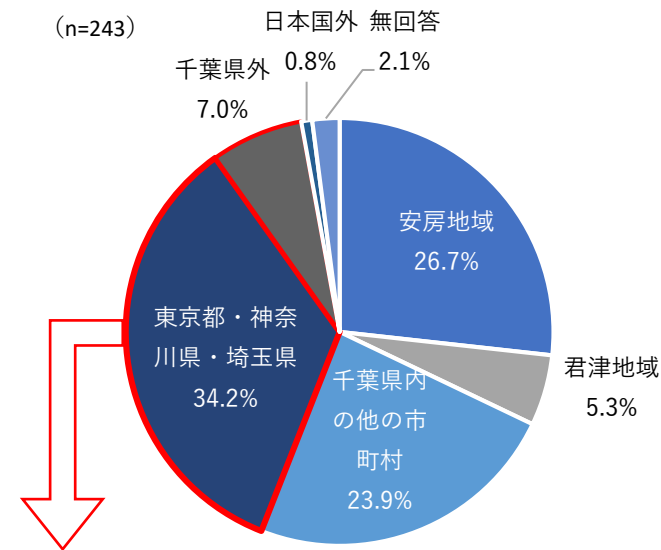
中学生アンケート

※①南房総市への定住意向で「進学先・仕事先などによるが、南房総市に住み続けることにこだわらない」「将来は、南房総市を離れて生活したい」を選択した方のみ回答。



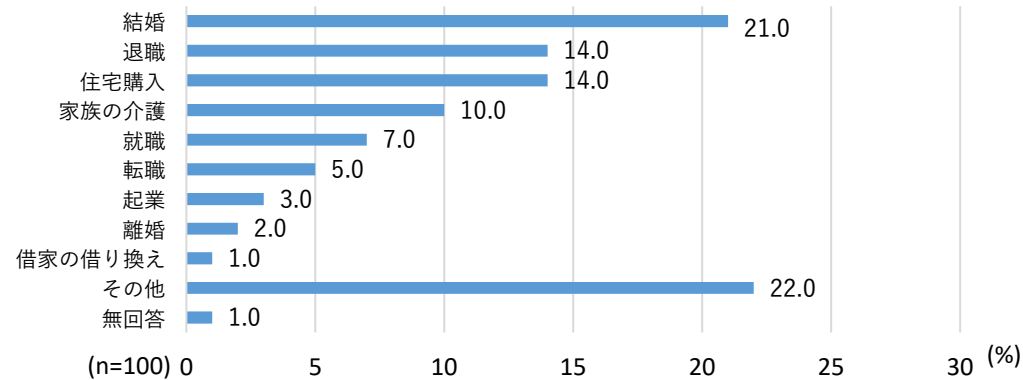
南房総市に転居してきた人（市民アンケート：n=243）

問 5. 南房総市に住む前の居住地について

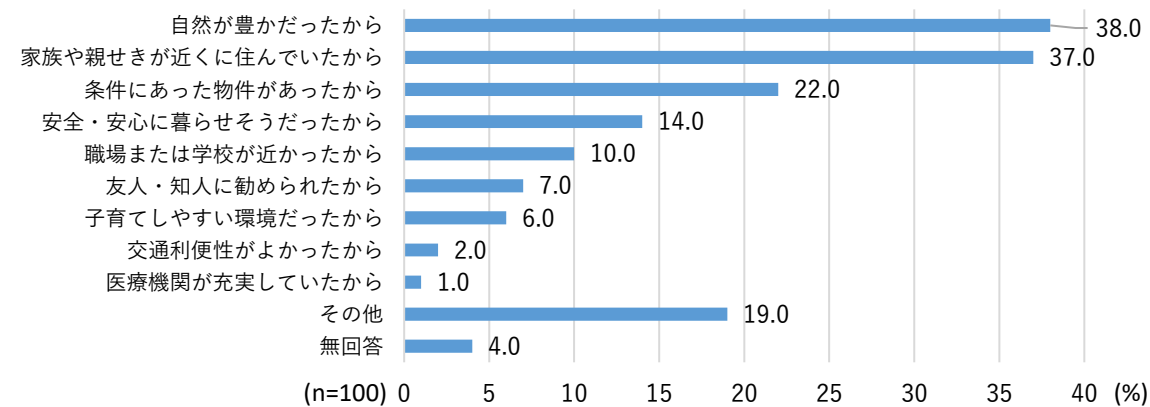


（千葉県外から転入した人のみ回答）

問 6 - 1. 南房総市に転入した最大の理由について



問 6 - 2. 転入する際に南房総市を選んだ理由について

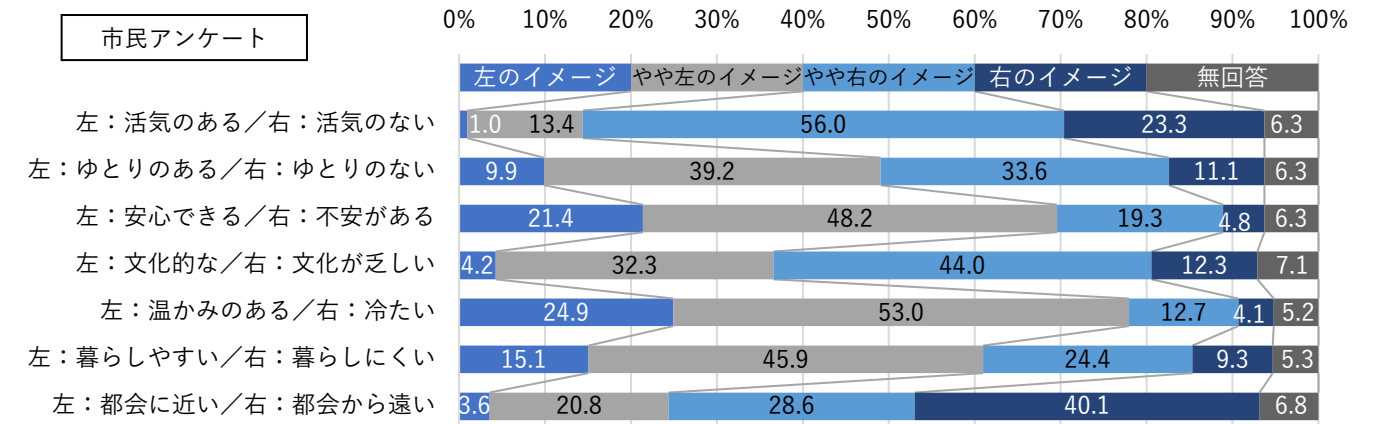


（3）南房総市の魅力

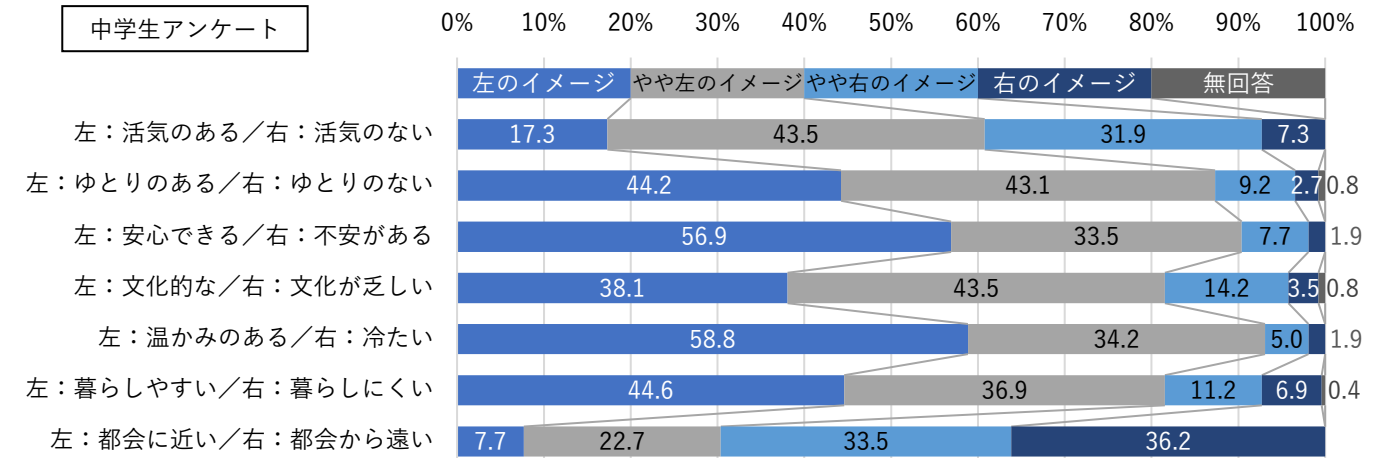
①南房総市のイメージ

問：あなたにとって、現在の南房総市はどのようなイメージですか。

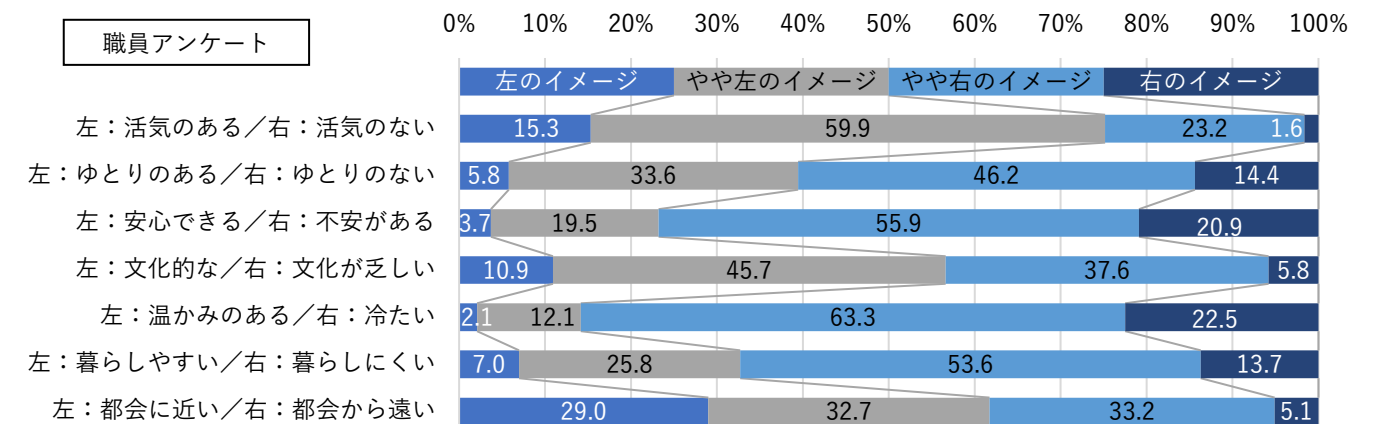
市民アンケート



中学生アンケート



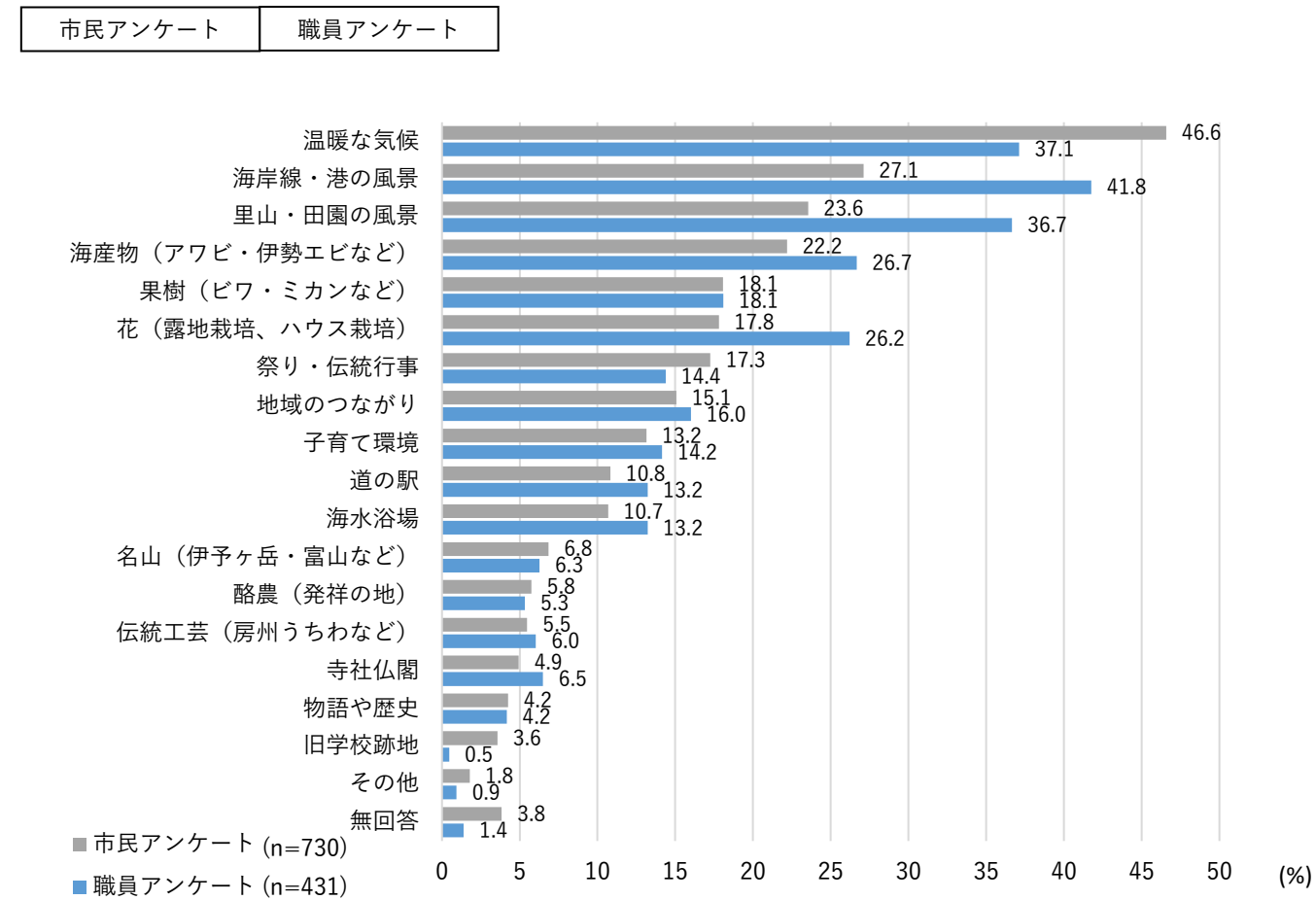
職員アンケート



- ✓ 全体では、中学生の結果が概ね左のイメージが強く出ています。
- ✓ 「都会に近い⇔都会から遠い」について、職員は左のイメージ（都会に近い）が6割以上と比較的多くなっていますが、市民・中学生では3割未満に留まっています。
- ✓ 「活気のある⇔活気のない」について、市民アンケートでは8割以上が右のイメージ（活気のない）との回答しており、一方、中学生・職員では左のイメージ（活気のある）が6割以上となっています。

②地域資源

問：あなたにとって、大切にしたい地域の財産とは何ですか。



- ✓ 市民アンケートでは、「温暖な気候」が46.6%（職員より9.5ポイント高い）と最も多く、次いで「海岸線・港の風景」「里山・田園の風景」「海産物（アワビ・伊勢エビなど）」となっています。
- ✓ 一方、職員アンケートでは、「海岸線・港の風景」が41.8%（市民より14.7ポイント高い）と最も多く、次いで「里山・田園の風景」「海産物（アワビ・伊勢エビなど）」「花（露地栽培、ハウス栽培）」となっています。
- ✓ 市民アンケートと職員アンケートにおいて、ギャップが多い項目としては、「海岸線・港の風景」が14.7ポイント、「里山・田園の風景」が13.1ポイントと10ポイント以上の差となっています。

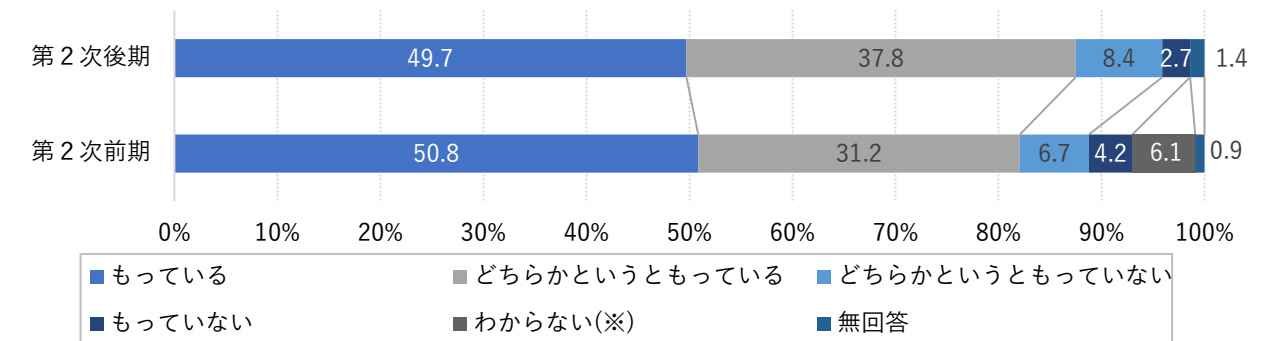
3. アンケート結果（前回調査との比較）

市民アンケート

（1）南房総市での生活

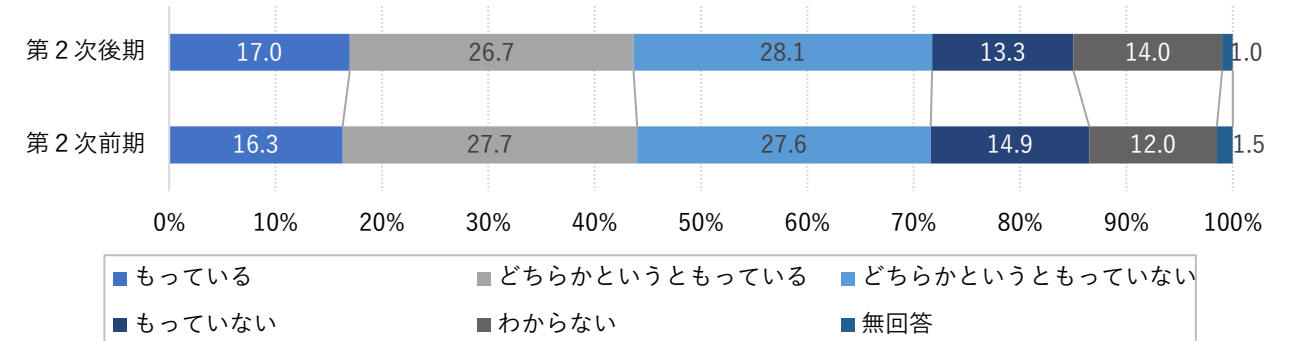
①南房総市への愛着

問：あなたは南房総市に愛着をもっていますか



②将来への希望

問：あなたは南房総市の将来に希望をもっていますか

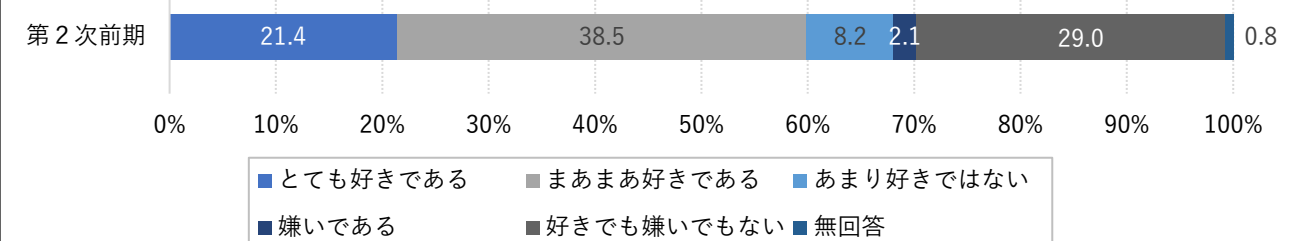


- ✓ 前期調査と比較すると、愛着を「もっている」「どちらかというともっている」が87.5%と5ポイント程度上昇しています。一方、将来への希望については統計的に大きな傾向の差はありません。

【参考】第1次 前期基本計画

中学生アンケート

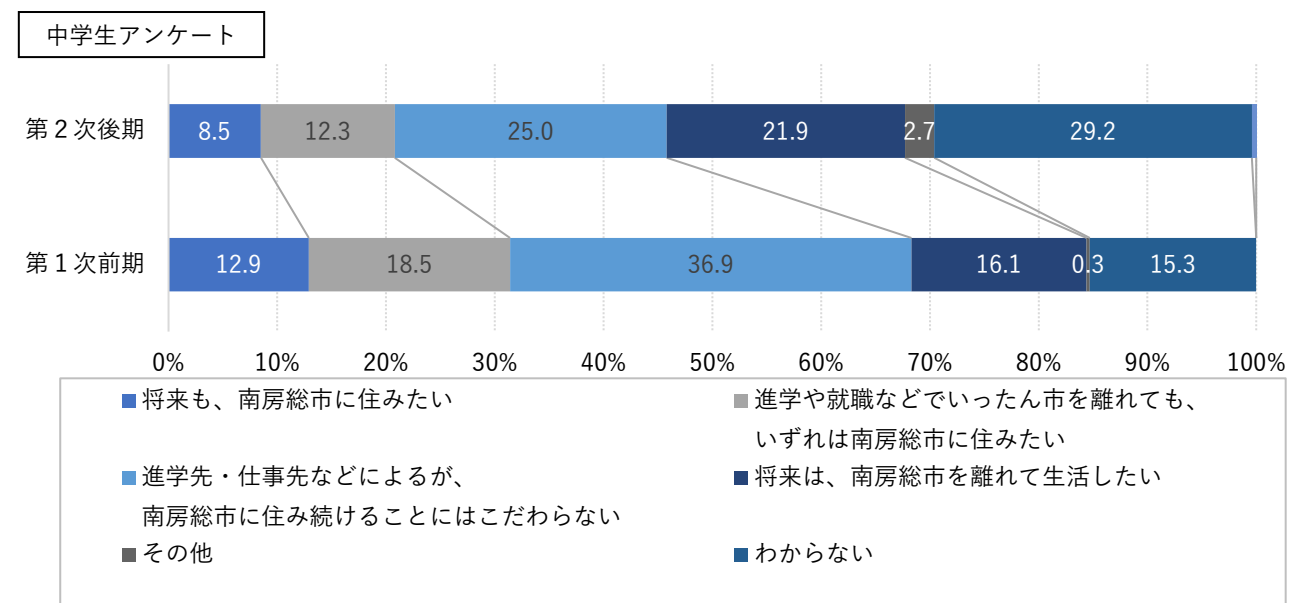
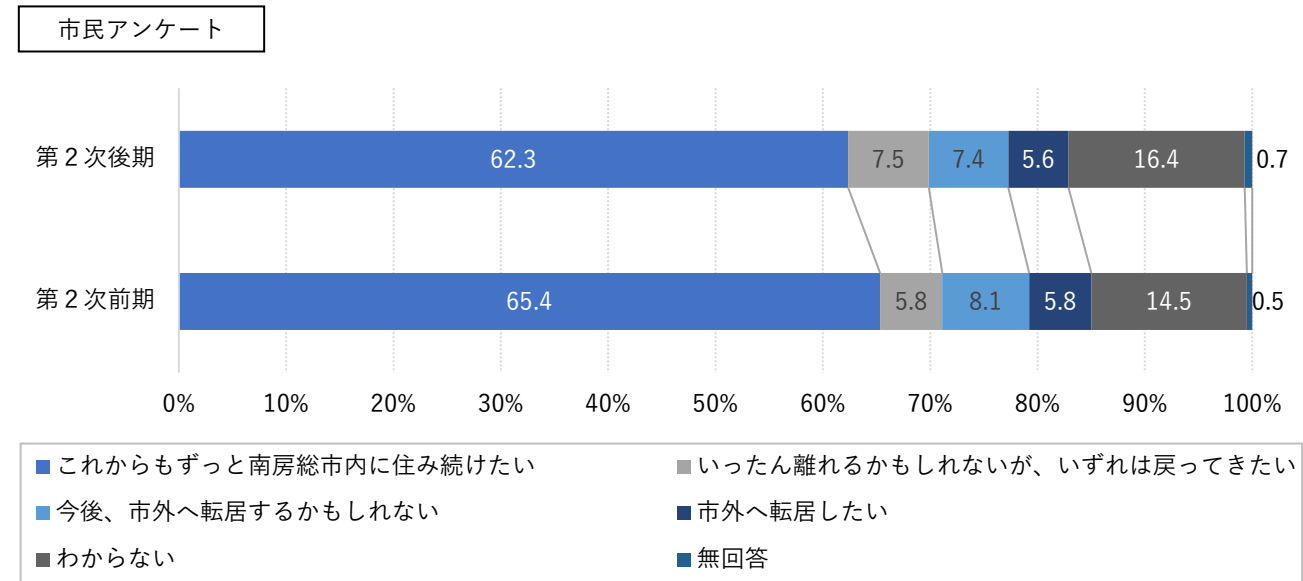
問：ふだん住んでいる地域のことが好きですか？



（２）定住意向

①南房総市への定住意向

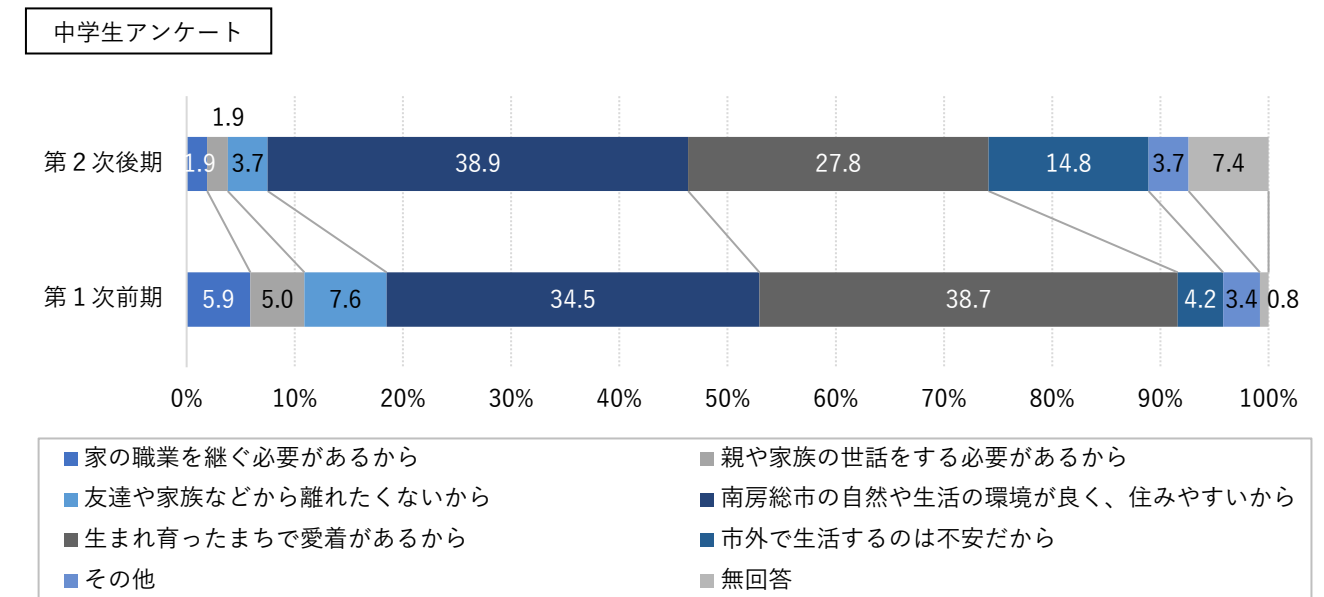
問：あなたは今後も南房総市に住み続けようと思いますか



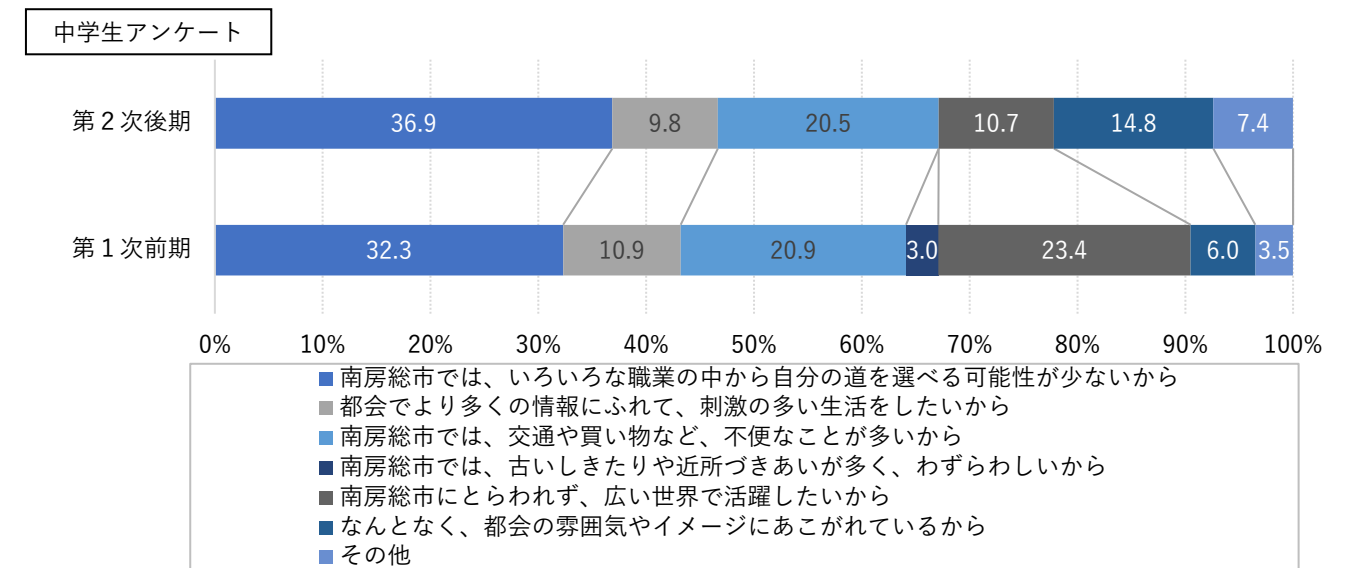
- ✓ 市民アンケートでは、「これからもずっと南房総市内に住み続けたい」が3ポイント程度減少している一方で、「市外へ転居したい」は同程度となっています。また、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が2ポイント程度上昇しています。
- ✓ 中学生アンケートでは、「将来は、南房総市を離れて生活したい」が5ポイント程度上昇しています。

②住み続けたい理由

問：住みたい理由って何ですか



問：離れたい理由って何ですか



- ✓ 住み続けたい理由について、「生まれ育ったまちで愛着があるから」が10ポイント減少しているのに対し、「市外で生活するのは不安だから」が10ポイント上昇しています。また、「家の職業を継ぐ必要があるから」「親や家族の世話をする必要があるから」が、それぞれ3ポイント程度減少しています。
- ✓ 離れたい理由について、「南房総市にとらわれず、広い世界で活躍したいから」が13ポイント減少しています。「なんとなく、都会の雰囲気やイメージにあこがれているから」は9ポイント上昇しています。